



楽しく、有意義な冬休みを

校長 河野 秀樹



<米農家さんと会食>

明日をもって、令和6年度第2学期が終了します。79日間の2学期、日々の学習や学校行事等をとおして、たくさん成果を挙げることができました。保護者、地域の皆様には本校の学校運営に御理解、御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2学期の特色ある教育活動をいくつか紹介します。

にじいろ学級は、7月に農家の方の指導でバケツにくわいを植え、11月に収穫し、家庭に持ち帰りました。くわいは、大きく長い芽をつけた姿から「めでたい」「芽が出る」などと言われ、縁起物とされています。子どもたちは、くわいご飯の給食を農家の人と一緒においしく食べました。にじいろ学級と5年5組の給食の様子が、12月24日(火)11:30~12:00のNHK「ひるまえほっと」で放送される予定です。

1年生は、12月にチューリップとクロッカスの球根を植えました。「チューリップはにんにくみたいで、クロッカスはおにの角みたいです」「どっちもきれいな花になってほしいです」などと感想を書いていました。春に花が咲いて、さらに美園小を明るくしてくれるのが楽しみです。

2年生は9月の生活科の授業で農家の方から指導を受け、ヨーロッパ野菜の苗(「カーリーケール」「カーボロネロ」「コールラビ」「カリフローレ」)を植えました。そして、11月に収穫し、その野菜を使った給食を全校児童が喜んでいただきました。食べ残しもほとんどありませんでした。

3年生は、10月に社会科副読本の「農家の人の仕事」の事例で掲載されている小松菜を植えました。朝や帰りに、成長の様子を楽しみにしている姿をよく目にしました。12月に収穫し、家庭に持ち帰りました。色々な料理に使っていただいた写真も拝見しました。ありがとうございました。

5年生は9月に稲刈りをし、家庭科の時間に米農家の小泉さんと平川さんと収穫したお米を炊いて食べました。子どもたちは、「いつものお米より、美味しく食べられた」「また食べたい」などの感想を持つことができました。

美園小学校の周りには住宅地や商業施設などがあり、大きな道路は交通量も多いです。しかし、まだ田畑が広がっているところもあります。このような環境の中、農家の方に直接教えていただきながら苗を植え、諸感覚を働かせて野菜などを育てるという経験は、とても貴重です。食事に行ったレストランや買い物に行ったスーパーで「これさいたま産だね。さいたまヨーロッパ野菜だよ」と食への関心が高まり、地元への愛着が深まることを期待します。

明日から13日間の冬休みとなります。慌ただしい時期ですが、家族とともに日本古来の様々な伝統に触れるよい機会でもあります。事故にあわないように気を付けて、3学期の始業式には元気に登校してほしいと思います。